



習志野市の小中学校に エアコンを！

今年、7月に入って記録的な大雨が西日本を中心に降り続き、各地で河川の氾濫や土砂崩れなどの被害が拡大しました。全国で300人近くの死亡、行方不明者が出るなどの異常事態となりましたが、その矢先、「命に危険な暑さ」とも言える猛暑が日本列島を覆いました。

6月市議会でも「小中学校の普通教室すべてにエアコンの設置を求める請願」

市民の方から提出された請願に対して、6月市議会では、大いに議論されました。

◎気象条件・住環境の変化

地球温暖化やコンクリートの高層ビル・アスファルト道路に囲まれた住環境の変化は、平均気温を上昇させて、人々の暮らしを厳しくしています。「2017年度 小中学校温度測定一覧」によれば、エアコンが設置されていない習志野市の普通教室では、室温が大変上昇していることが分かります。

昨年2017年7月の登校日13日間の内、28℃を超えた学校がある日は、小中学校とも13日間すべてです。測定は一日の内、8時と13時の2度行われていますが、特に

13時の測定結果では、毎日28℃を超えた学校が小中学校23校中、19校という深刻な状況です。実際に測定一覧の28℃以上の日に赤い印を付けてみますと、一覧表が真っ赤になっているように見えるのです。

◎近隣市・その他の自治体の状況

習志野市は普通教室に設置されていませんが、県内近隣市では、船橋市、市川市、浦安市の小中学校の普通教室にエアコンが設置されています。

2017年6月9日の文部科学省の報道発表「公立学校施設の空調（冷房）設備設置状況調査の結果について」の中、都道府県別の結果があります。

	保有室	設置室	設置率
茨城県	9,617	4,889	50,8%
栃木県	6,726	4,931	73,3%
群馬県	6,311	5,407	85,7%
埼玉県	19,887	15,124	76,0%
千葉県	17,960	7,997	44,5%
東京都	27,118	27,116	99,9%
神奈川県	24,263	19,157	79,0%

千葉県の空調設備設置率は44,5%で、関東地方で最低です。東京都は99,9%で全国トップです。

各自治体の事情は異なりますので、即、習志野市でもできるはずだとは言えませんが、可能な方法を調査・研究していくことが急がれています。

習志野市の学校施設は老朽化が進んでおり、その改善に向け、改築や学校トイレなど多額の費用を要する大規模改修工事を最優先課題と考え、全ての普通教室にエアコンを設置する予定はないとしています。「財源をどうするか。」という問題があるためですが、例えば、学校の建替えまでの間は「リース方式」を利用するなどして、少しでも早く児童・生徒の学習環境を整えていくように、努めて行くべきでしょう。

◎国もエアコン設置に「支援開始」表明！

7月24日、菅内閣官房長官は報道で、「小中学校のエアコン設置に対して、国は補助金等の支援をすると表明しました。この猛暑が、命に危険を及ぼすような深刻なものと認識しているからでしょう。

◎6月市議会では、請願を「採択せず」！？ これに対し、大きな反響。

「小中学校の普通教室すべてにエアコンの設置を求める請願」は、文教福祉委員会、さらに本会議でも審議されましたが、採決の結果、「賛成少数」で採択されませんでした。先日お配りしました、「藤崎ちさこ 市議会ニュース」(6月市議会分)には、「議案・請願に対する賛否」の一覧表を載せましたが、ご覧になった市民の多くの方から、「エアコン設置に反対する人って、子どもたちの学習環境について、どう考えて反対するんですかね?」、「PTAには、エアコン設置を求める動きが無いのですかね?」、「早くエアコンを付けてもらえるように頑張って下さい。」など、多くのご意見を頂きました。こんなに大きな反響があることは、児童・生徒が過酷な暑さの中で学習することへの、ご心配の表われでしょう。

千葉県

反核・平和の火リレー

7月23日(月)13時、市役所前広場で、千葉県反核・平和の火リレーの「灯のバトンタッチ」式が行われました。千葉市をスタートした反核・平和の火は、習志野市にバトンタッチされ、船橋市へと向かいました。



習志野平和のつどい原爆の絵展

今年も恒例の「習志野平和のつどい原爆の絵展」が開催されます。

『原爆の絵展』会場

新習志野図書館 8/4 ~ 8/9
東習志野図書館 8/12 ~ 8/16
モリシア津田沼 8/17 ~ 8/19

『平和リレーコンサート』

時間：8月19日(日)開演 午後1時
場所：モリシア津田沼 センターコート